

# 図画工作、美術

## 感性や想像力を働かせ、自分なりの意味や価値をつくりだす授業づくり

### 授業づくりのポイント

※数字は学習の例と対応

- ① 系統的に育成する資質・能力が身に付くよう、児童生徒の学習経験を確認するとともに、各学年における指導事項や内容の取扱いと指導上の配慮事項を踏まえて、授業を構想する。
- ② 児童生徒が自分の感覚や行為を通して、実感を伴いながら造形的な特徴やイメージを理解することができるよう、実物に触れたり、試行錯誤したりする時間等を十分に確保する。
- ③ 児童生徒の表したいことや主題を基に、表現したり鑑賞したりすることができるよう、学習のねらいに応じて、発想や構想する際も、鑑賞する際も双方に働く中心となる考えを明確にする。
- ④ 題材など内容や時間のまとまりを見通しながら、指導に生かす評価と記録に残す評価について時期や場面を精選し、児童生徒の学習状況を把握する方法を工夫して評価する。

### 豊かな発想や構想につながる学習の例

小学校第4学年 題材名「発見！〇〇山～見たことのない山を想ぞうして～」(絵や立体、工作)

◇指導事項「A表現」(1)イ、(2)イ、〔共通事項〕ア、イ

◇題材の目標(一部)

- ・材料や用具を適切に扱うとともに、これまでの材料や用具についての経験を生かし、手や体全体を十分に働かせ表したいことに合わせて表し方を工夫して表す。 [技能]
- ・形や色などの感じを基に、自分のイメージをもちながら、感じたこと、想像したことから表したいことを見付け、表したいことを考え、形や色、用具を生かしながら、どのように表すかについて考える。 [思考力、判断力、表現力等]

前の題材で使用したブラシやローラーなどが生かせそうだ。表し方を試せるお試しコーナーを準備しておこう。



児童の実態を踏まえ、児童が表現する喜びを味わい、造形的な創造活動を楽しもうとする意欲がわくとともに、題材の学びを捉えることができるような題材名を示したり提案したりします。 ③

授業を構想する際に、児童の学習経験を確認し、表現に生かすことができそうな材料や用具を準備します。 ①②

	主な学習活動	知	技	思
1	・形や色に着目し、「見たことのない山」を描く。 	○		
2	・山の形から想像し、表したい「〇〇山」を考える。			○
3	・「〇〇山」に合った表し方について考える。			○ ↓ ◎
4 5 6	・表したいことを基に表し方を工夫して表す。	◎	○ ↓ ◎	

○…指導に生かす評価 (評価は一部)  
◎…記録に残す評価

各学習活動の際に、児童がどの資質・能力を身に付け発揮する姿が見られるかを具体的に想定し、指導に生かす評価と記録に残す評価を適切に位置付けて、評価計画を作成します。 ④

#### 【発想や構想の場面】

めあて  
山の形から想ぞうし、どんな〇〇山にするかを考え、その表し方を考えよう。

S:うずまきの山は風みたい。そうだ、動物たちが風に乗って遊んでいる山にしよう。何を使って表そうかな。

T:すてきな山を発見しましたね。お試しコーナーで、いろいろ用具を使って描いて、感じを比べてみたらどうですか。

S:太い筆でやさしく描いたら、イメージした気持ちよさそうな風の感じになりました。周りはパステルでぽかそうと思います。

T:表したいことに合った表し方を見付けましたね。



表したいこと・表し方  
動物が風に乗って遊んでいる  
気持ちよさそうな感じ→太い筆  
ふわっとした感じ→パスでぽかす

表したいことを基に工夫して表現していけるように発想や構想をする様子から見取ったことを指導に生かします。 ③④

形や色の感じを基に自分のイメージをもちながら表したいことを見付けているか、どのように表すかについて考えることができていないかを見取ったことを児童の姿や記述、対話、作品等から捉えるようにします。 ④

児童自身が自信をもって表したいことを見付けることができるような手立てやきっかけ、教師の関わりを考え、学習過程を設定することが大切です。



